



里山と都市緑地

報告者：山田純稔



分科会の内容紹介

- ・日時：2008年4月20日
- ・場所：「関さんの森」松戸市幸谷
- ・参加者数：86名
- ・内容 関さんの森ウォッチング

タケノコ堀り体験，野草の天ぷら試食



本分科会のまとめ

■都市に残された里山の価値

都市に残された、生物多様性に富む里山は、近隣の学校・市民の、自然体験・環境学習の場。きわめて公共性の高い空間。

■住宅に囲まれた森の悩み

市街化区域内の里山は、相続税の関係で、残すことが困難。周辺住民からの苦情（落葉・落枝・倒木・日照・ゴミ・防犯）も多い。

■「関さんの森」と道路問題

「関さんの森」を分断する道路工事が迫っている。貴重な「関さんの森」を「エコミュージアム」として残し、整備・活用するために、地下案・迂回案を提案している。しかし、市は強制収用も辞さないかまえ。ご支援をお願いします。

